



平成23年2月4日

各 位

上場会社名 日本化成株式会社
代表者 取締役社長 中村 英輔
(コード番号 4007)
問合せ先責任者 経理部長 関 信哉
(TEL 03-5540-5861)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年10月28日に発表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	39,400	2,700	2,700	1,350	12.85
今回発表予想(B)	40,000	2,900	2,900	1,440	13.70
増減額(B-A)	600	200	200	90	
増減率(%)	1.5	7.4	7.4	6.7	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	38,301	1,454	1,232	661	6.29

修正の理由

当第3四半期連結累計期間の業績は、第3四半期に入り、機能化学品事業及び無機化学品事業関連需要が当初想定以上の進展を見せ、これに各種の合理化、効率化、生産効率アップ等のコストダウン努力、更には販売数量確保等の収益向上諸施策の効果も相俟って、平成22年10月28日の業績予想修正発表時点の想定を上回る結果となりました。

一方、今後の見通しにつきましては、ユーロ圏の財政不安、厳しい雇用情勢が続く米国経済の先行き、資源価格の上昇、為替動向等、種々の不透明要素を抱えつつも、新興国経済が比較的堅調に推移し、日本経済にも一部持ち直しの動きが見られ始める中で、景況感は、逐次改善傾向を示しつつあります。

こうした中で、当社を取り巻く諸情勢につきましては、主原燃料価格の動向、市場競争の激化等、必ずしも先行きの不透明感が払拭された状況にはありませんが、当第3四半期連結累計期間までの実績、各事業分野における主要顧客の当面の需要動向等に鑑み、平成23年3月期の通期連結業績は、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益のいずれもが、平成22年10月28日に発表した業績予想数値を上回る見通しといたしました。

以 上